

会 議 録

1 会議名

令和3年度 第5回和田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」（公開）

（2）「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（公開）

3 開催日時

令和3年10月13日（水） 午後6時30分から午後7時45分まで

4 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：植木厚祐、片田和夫、金子良一、草間雄一、佐藤勝雄、篠原精子
清水雅浩、高橋武弘、平原留美、宮崎雅彦（副会長）、山岸優子
横田英昭（欠席2人）

・事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、小池係長、五十嵐主任

8 発言の内容

【小池係長】

・有坂会長、佐藤力委員を除く12人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

・同条例第8条第1項の規定により議長は会長が務めることとなるが、会長は本日欠席のため、副会長が務めることを報告。

【宮崎副会長】

・会議の開会を宣言

- ・ 会議録の確認：片田委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

- ・ 配布資料の確認
- ・ 次第に基づき、議題の確認

【宮崎副会長】

ただ今の説明について質疑を求めるがなし。

— 次第3 議題（1）自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」 —

【宮崎副会長】

次第3 議題（1）自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」に入る。

前回、前々回の会議では、市の担当課からの説明や質疑を行った。本日はそれらの説明を踏まえ、振り返りや今後の進め方等について協議する。事務局より説明を求める。

【堀川センター長】

- ・ 資料No.1、参考資料により、第2回和田区地域協議会で委員から出た上越妙高駅周辺の活性化に関する意見、市の交通政策課及び文化行政課の説明や質疑応答の内容について説明。

【宮崎副会長】

資料No.1は、以前の会議で委員より出た上越妙高駅周辺の活性化に関する意見を4つのカテゴリーに区分している。その後、市の交通政策課と文化行政課より説明を受けた。交通政策課の説明を受け、個人的な見解として土地利用については、いろいろな制約があるため難しいのではないかと考えている。また、文化行政課の説明を受け、まだ釜蓋遺跡のことは知らないことが多いため、もっとよく調べて調べれば、何かできることがあるのではないかと個人的には思っている。

この4つのカテゴリーについて、先の市担当課の説明や質疑を踏まえながら、

カテゴリーごとに委員から意見を聞いていくことでよいかを諮り、了承を得る。

まず「公共施設の整備による活性化」についてである。

ちなみに、総論では北の方も空いている土地があるということだが、和田地区振興協議会の方で協議していて、まだ時間がかかるようであり、すぐには無理である。

- ・「公共施設の整備による活性化」について委員からの意見を求めるがなし。

それでは、途中で思いついたことなどがあれば、発言してもらうことにして、一旦「公共施設の整備による活性化」の件を保留とする。

次に「民間企業、店舗等の進出による活性化」について意見を求める。

市の説明で分からないところやどうにかしてほしいといったことでも結構である。先ほども申し上げたとおり、いろいろな制約があるため、これらの意見を1つずつやっていくことは厳しいと思っている。

- ・この件について、委員からの意見を求めるがなし。

載っている意見の中に飲食店、デパート、スーパーなどの進出とあるが、土地利用については大体が民有地であり制限もある。そのため、なかなか我々が思っているようには簡単にはいかない部分もあると思う。それが現実のように思う。それでは、委員からの意見がないため、次に進むことにする。

次に「道路、交通の整備による活性化」についてである。

6月の会議では、片田委員から山麓線から青田を通る道の整備とか、新井信用金庫からガード下をくぐる道路を山麓線まで通すなど、道路の整備に関する意見があった。交通政策課の話では当課は道路の所管課ではないが、聞いている中では現在、道路の改修の計画はないという回答だったと思う。この件について片田委員の意見を求める。

【片田委員】

例えば、昨冬は大雪のために交通止めになった。なぜ私が新井信用金庫からの道のことを話しているかというと、前にも言ったが、山麓線から青木を通る道は今でも大型車とすれ違うのがいっぱいである。また冬になれば今年のように通行止めになる。もし、新井信用金庫からの道が山麓線に繋がれば、雪が降

っても除雪がしやすく、そして、観光バスもそのルートから入ってくると一番よいと思う。観光バスが来ると自然に活性化すると思う。例えば、地元の町内会長等いろいろな人達により、また、地元在市会議員もいるので、議会にでも要望を出して、それで予算をつけるように地元を挙げてやっていけば、前に進むのではないかと思っている。

【宮崎副会長】

確かに、地元の住民や町内会長達が集まり、要望事項等を出すことがまずは第一かと思う。そういう方向は大事だが、地域協議会として今これをやっていくかどうかは、また皆さんの中で考えてほしいと思う。

・この件について他に意見を求めるがなし。

最後に「賑わいの創出による活性化」について、繰り返しになるが、市の交通政策課と文化行政課の説明でわからないこととか、このようにすればよいのではないか等、意見のある委員の発言を求める。

話が大き過ぎてなかなか発言しにくいと思う。今ほどの区分ごとの意見を踏まえ、まずは手短なことから始めるのがよいのではないかと思うが、その辺で意見はあるか。

【金子委員】

委員からこれだけいろいろな意見が出た中で、前回、宮崎副会長から出された「コスモス等を植えてはどうか」との意見については「可能」との回答が得られた。しかし、他の意見に対する答えが全くないので、今日は交通政策課や文化行政課の方が来られるという話だっと思うが来ないのか。

【宮崎副会長】

来ない。

【金子委員】

その1つ1つの意見、ジムリーナのことや高速バスを駅から発着することなど、さまざまな意見があったと思うが、その意見に対して、現在の市の考えとして可能か否かだけでも聞きたい。もし可能でない場合は、どのようにして可能な方向に持っていくのかについて考えていけばよいと思う。まずは、出た意見に対して

市は前向きに考えるのか、考えないのかを知りたいと思う。それから話は進んでいくように思う。

【宮崎副会長】

私の個人的な意見としては、金子委員の発言は当然のことだと思し、私もそう思うが、要は、釜蓋遺跡のコスモスの件について可能ではないかというような回答があったが、それ以外のことについてはっきり言わなかったということは、現状では可能ではないと考えるのが一般的ではないかと思う。

【金子委員】

前回、宮崎副会長は釜蓋遺跡の担当者に「コスモスを植えてはどうか」と質問し、それに対して「可能である」との回答があった。しかし、これだけいろいろな意見が出ている中で、これらの質問は交通政策課にもしていない。交通政策課がこの資料を見ているのか見ていないのかは分からない。以前、会議が終わった後にこの資料（資料No.1）と同じ内容の資料（第3回和田区地域協議会の参考資料）をもらい、皆さんの意見をまとめたものがあったのだなと思った。しかし、記載されている1つ1つの意見について質問をしていない。交通政策課の説明の場で質問したことに対しては、その場で回答があったが、資料に記載されている細かいことは質問していないので、本日、市の担当課が来ると思っていた。もし来ないとしても、個々の設問に対して現状で市としてはどのような考えがあるのかを聞きたいと思う。地域協議会委員の意見に対して「これは絶対に無理」「これは地域住民と考えていく」等、市としてどのような考えがあるのか知りたい。

【宮崎副会長】

私の個人的な考えとしては、繰り返しになるが、質問に対する回答がないということは、一般的に考えると現状では無理ではないかということだと思う。

【横田委員】

6月24日の第2回地域協議会の際に私も発言したが、テーマが多少ぼやけており発言しなかった委員もいた。私の意見も2つ載っているが、「このようなものがあればよい」程度の話であり、「こうしてください」といった要望という感じではなかったように思う。他の委員は分からないが、自分はそのように考えていた

ので、それに対して回答を求めるといった認識は持っていなかった。

【草間委員】

自分が質問した中で、斐田線と青田線のバス路線に関するものがあつたと思うが、来年の4月から斐田線と青田線を一緒に上越妙高駅西口に寄ることについて、地域住民の意見を聞きたいということで、あれから1週間も経たないうちに回覧がまわってきた。町内会長が市へ意見を出すかたちになっているが、バスが駅へ寄るとしても、乗る人がいるかどうかは正直分からない。青田から上門前、稻荷、地頭方をまわって青木から上越妙高駅に入り、そして高田から青田線に上がってくる円周ルートである。稲荷からするとバスに乗ってくるのと歩いてくるのでは、時間的に大差ない。そのため人の動きが読めない。要望とすれば、県立中央病院まで行ってほしいというものが出てくるが、高速バスにしる他のバス路線にしる、上越妙高駅を拠点にするまでに至らないのか、それとも、多くの路線が駅に寄るようになるのかといったことは、地域協議会として要望を出してよいかかわからないが、そんなことを思っている。

次に、アンダーパスからの道路について、基本的には市も予算がないため、土地の買収はよほど苦しいと思っている。やるにしても、4年に1度の基本計画に載せなければいけない状況だと思う。基本計画に載せるためには、相当のバックアップと力が必要だと個人的には考えている。

【宮崎副会長】

交通政策課から説明を受けた際に、委員から路線バスのアンケートに関する発言があり、それと関連があるのかどうかは分からないが、動きがあつたということは、地域協議会で発言したことにも意味があつたように思う。また、今後いろいろなことを市に要望するにしても時期の問題等もあるため、すぐには難しいという今の発言だったと思う。

今後、実際に地域協議会として、自主的審議の上越妙高駅周辺の整備、活性化について、どのように進めていけばよいか意見を求める。

個人的に正直に言うと、釜蓋遺跡についての事柄はすべて却下されると思っていたが、「可能」「キャンプをしてもよい」等の返答があつたため驚いた。自分も

実際には釜蓋遺跡の中には行ったことがないため、実際に出向いてみて、周辺も歩いて現地をよく知ってから、地域協議会で検討することもよいと思った。まずは、簡単にできることからやった方がよいと思った。市に「大きな道を作ってほしい」と言っても、すぐできるわけではない。また釜蓋遺跡応援団も40人程と少ないし、できそうなことから地道に少しずつやっていくことが一番よいと思った。そうすると、例えば次回の11月の地域協議会まで間の週末に、文化行政課より来てもらって釜蓋遺跡の施設を見学しながら説明を受け、周辺も歩きながら気になることを質問する等すれば、また考えも広がっていくように思う。

【横田委員】

この辺に住んでいない人に「上越妙高駅はどんなイメージか」と聞いてみた。その人は、以前に開催されたオータムフェスティバルだかに来たことがあるようで、まず言われたことは、駅だから当たり前のことなのだが、「電車があるからよい」そして「他の駅と比べて駐車場が多いのでよい」と言われた。そして、驚いたことが「ビジネスホテルがあるからよい」と言っていた。聞いた相手は女性で、詳しく聞いてみると、ホテルに宿泊してお風呂に入って翌日そのまま仕事に行けるのでよいとのことであった。近くに住んでいるとそういった発想はないが、遠くの人はそのように見ているのだと感じた。さらにその人と釜蓋遺跡の話になり、以前、会議の中で話が出ていた土器の利用について、その女性は「土器の内側に使い捨てのカップを入れてストローでコーヒー等が飲めるようにしてはどうか。土器でコーヒーを飲んでいるように見えるため、インスタ映えすると思う」と言われた。また、先ほど宮崎副会長の発言にもあったように、自分も釜蓋遺跡には行ったことがないため、現地視察のようなことをしてもらえるとありがたいと思っている。

【植木委員】

「公共施設の整備による活性化について」は、話を聞く限り今すぐに公共施設が建つ計画はないことが確認できた。そして、「民間企業、店舗等の進出による活性化」についても、今は大きい土地も既に限られてきているため、誘致をしても、現状では大きい店舗やショッピングモールを新たに作ることは難しいことが確認

できた。また、「道路、交通の整備による活性化」についても難しいということであるため、やれることとしては「賑わいの創出による活性化」が一番手っ取り早いというか、アイデアひとつでできそうなものではないかと思った。だが、他の3項目についても地域協議会の意見として、行政、民間企業、土地の所有者に要望等の働きかけを続けなければ、当然、地域協議会の思いは届かないわけである。このことは要望書としての提案書のようなものは作ることができると思う。実際に地域協議会で何ができるのかというと、多分「賑わいの創出による活性化」であり、少しの行動力で何か活性できないか、作っていけないかと思った。釜蓋遺跡は東京ドーム1個強の広さがあり、もっと有効活用できないものかと思っている。チャレンジングというか、市としても「釜蓋遺跡を利用して何か面白いことをしている」と、全国でも話題になるようなことができればよいと思う。遺跡というものは、どうしても真面目なイメージというか、「保存しなければならない」「後世に残さなければならない」というイメージがある。だが、それではなかなか人が集まってこない。ただ「遺跡があります」だけでは、全国から人を呼ぶことは難しいと思う。何かチャレンジしていけば、近県からも来れ、新幹線の駅が近いということもあり、深掘りができれば面白いコンテンツになるのではないかと思う。

【高橋委員】

今日、用事があり高田城址公園の周辺に行き、歴史博物館に寄ってきた。夕方の4時くらいに行ったが、「午前中も団体客でいっぱいであったため、ちょうどよい時間に来ましたね」と言われた。現状として釜蓋遺跡には、歴史博物館のようにそこまで集客力のある、魅力あるものがあるのかという話になってくるかと思う。

1つは「発信力」、どういふかたちで発信していくか、インターネットを使うなり、いろいろな方法があると思う。ただ単に駅にパンフレットを置いた程度では、やはり宣伝不足で知名度は広がっていかないと思う。我々ができることといえば、インターネットを利用する程度であれば、個人やグループでもやっていけると思う。そういったことも検討すべきかと思う。

もう1つとして、現状では遺跡調査をした跡地でしかないため、それをどう見せていくかについては、ある程度市からも譲歩してもらって、我々としても何か考える。そういったことをやっていかないと、先には進めないような気がする。

自分としては、もどかしい気持ちがある。まとまった意見を出せばよいのだが、現時点で感じていること、これまでの話の中で感じていることは、やはり漠然とした考えしか出していけないというもどかしさが、今一番困っていることだと思う。これから自分でもできるだけ知見を広めて、その中で新しく気づいたこと等があれば発言していきたいと思う。今のところは、どうやってもなかなか見せ場が作れないというもどかしさがあると思う。

【佐藤勝雄委員】

「道路、交通の整備による活性化」において、高橋委員が発言した「駅を拠点とした公共交通の整備」は、本当に大事なことだと思う。最近では新型コロナウイルスの感染者数も非常に減ってきており、人の流れも多くなってきた。夕方のニュースを見た際、北海道に行く航路に人や車が並んでいた。この地域も妙高並びに直江津方面、佐渡、東頸の民宿などいろいろある。コロナ後の人出を考えると、上越妙高のゲートウェイとして、駅前の交通整備が非常に大事だと思う。上越妙高駅西口のロータリー部分は意外と狭い。また東口に関しても、ロッテアライリゾートに行くとか、東京から来られた場合、バス等に乗り降りする際に決して十分な広さではないように思う。形が決まっているため、今さらどうにもならないかもしれないが、交通のハブとして駅周辺を考えていった方がよいのではないかと考えている。

【片田委員】

交通の話に関連して、現在、新潟に行くためには特急しらゆきや高田駅から出ている高速バスがある。私としては、上越妙高駅から高速バスが出ることが理想である。上越妙高駅を出発し、高田駅前を経由して新潟に行けるとよい。現在、新潟行きの特急しらゆきの本数が非常に少なく、不便だと思っている。特急を利用すると料金が高いため、約半分の料金で行ける高速バスを利用することが多い。高速バスを利用する際は高田駅前まで送迎してもらっている。もし上越妙高駅か

ら高速バスを利用できれば、とても便利になる。金沢方面から新幹線で来た際も、新潟方面に行きたい場合に特急と高速バスから選ぶことができ、利用者も増えるように思う。

【宮崎副会長】

- ・他に意見のある委員の発言を求めるがなし。

各委員の意見はよく分かり、今後も市へ要望していかなければならないことは理解できるが、和田区地域協議会の自主的審議として何かやって進めて行くには、例えば、先ほども発言したように釜蓋遺跡を現地調査するとか、もう少し知ることから始めることが一番よいのではないかと思う。現地を知らずにいろいろと話し合っても何も始まらない。釜蓋遺跡に行ったことがあっても、説明までは聞いたことがない委員も多いと思う。私は釜蓋遺跡ガイドスに行ったことはあるが、周辺は歩いたことがなく、どうなっているのか見たことがないので、できれば歩いてみたいと思っている。前回の会議であれほど質問が出るとは思わなかった。質問が多いということは、知らないことが多いということであり、いろいろと聞いていけば自分達でできることがあるかもしれないし、すごく可能性を秘めていると思った。そのため、まずは知ることから始めることがよいと思った。

- ・釜蓋遺跡を見学することとしてよいかを諮り、了承を得る。
- ・見学の詳細については、正副会長に一任としてよいかを諮り、了承を得る。

以上で次第3議題（1）自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」を終了する。

— 次第3 議題（2）「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について —

【宮崎副会長】

次第3議題（2）「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組についてに入る。

事前に配布された「地域協議会における取組【検討シート】」に基づき、新たに取組むこと等があれば意見を出してほしい。それでは順番に進めていく。

<ア 意見交換について>

まずは「ア 意見交換について」である。

- ・「地域協議会における取組【検討シート】」「ア-1 主な回答」、市から提案された「ア-2 各地域協議会における今後の取組（案）」の記載事項に基づき説明。

過去の取組については、検討シートに記載のとおり、平成22年から平成30年まで和田区地域協議会では地域との意見交換を行ってきたが、今期の委員になってからは行っていない。今後の取組（方針案）については、現在検討している自主的審議に関連したものでもよいが、地元町内会や地元団体等との意見交換をしていこうと思う。

- ・これに関する要望等について発言を求めるがなし。
- ・具体的な内容や日程については、改めて相談したいと思う。手っ取り早い内容としては自主的審議事項だと思うので、その関係で意見交換会を行うこととしてよいかを諮り、了承を得る。

<イ 会議運営について>

次に「イ 会議運営について」である。

- ・「地域協議会における取組【検討シート】」「イ-1 主な回答」、市から提案された「イ-2 各地域協議会における今後の取組（案）」の記載事項に基づき説明。

視察や研修の過去の取組については、検討シートに記載のとおりであるが、今期の委員になってからは行っていない。今後の取組（方針案）の会議開催日、開催時間、回数、会議の運営方法等に関して、会議の開催日については、これまでは不定期の開催としていたが、今後は原則第3水曜日とし、定例化したところである。

- ・その他、時間や回数について、意見を求めるがなし。

例えば、会議時間は1時間半を目安としていても、会議の内容によって前後することもある。また、現在は月1回程度の開催としているが、2か月に1回程度の開催がよい、または、月2回の開催がよいといった考えもあるかもしれない。

- ・今のところ、定例化した第3水曜日、また、月1回程度で行ってみて、必要に応じて委員の意見を聞きながら開催していくこととしてよいかを諮り、了承を得

る。

次に会議の運営方法で、会議における発言機会について「個人の意見が出しにくい」という前期委員の意見が出ているが、今期になって昨年の10月に地域課題を出し合うためにグループワークを1回実施している。そのほか、毎回1つのテーマに対して1人ずつ順番に意見を聞いていく方法もあるかと思う。なるべく全員から意見を出してもらいたいと思っているので、運営方法としては、皆さんから意見を出してもらえよう、皆さんのご意見を伺いながら努めていきたいと思っている。

- ・そのような形で運営していくことでよいかを諮り、了承を得る。

次に視察や研修の積極的な実施について、これについても今期になってからは実施していない。今回の釜蓋遺跡の現地視察は研修の1つになると思うので、それを手始めとして、今後、他のところに行くとか、そのような感じでよいか。

【佐藤勝雄委員】

研修費の予算は決められているのか。視察や研修の過去の取組を見ると、平成23年11月に金谷区と合同で佐久平まで行っているが、予算的にはどうなるのか。

【宮崎副会長】

事務局より説明願う。

【堀川センター長】

バスの場合は市のバスを使用するので、別途、予算はかからない。また、委員の費用弁償についても大丈夫である。

【佐藤 勝雄】

「この金額内で」「何キロ以内で」といった制限はないのか。

【堀川センター長】

特にない。新幹線を利用して遠くに行きたいとなると難しいが、当然、目的があって研修を実施することになるため、目的をしっかりと議論した上で、決めてほしいと思う。

【宮崎副会長】

- ・今後の取組について、以上のような形でよいかを諮り、了承を得る。

<ウ 情報発信について>

最後に、「ウ 情報発信について」である。

- ・「地域協議会における取組【検討シート】」「ウ-1 主な回答」、市から提案された「ウ-2 各地域協議会における今後の取組（案）」の記載事項に基づき説明。

これについては、和田区地域協議会だよりで委員の声や自主的審議の進捗状況等を掲載しているので、実施済みだと思う。現在、和田区地域協議会だよりは年4回、和田区で全戸配布している。

- ・発行回数について意見を求めるがなし。

自分は町内の役員もやっているが、最近は全戸配布される配布物がほとんどなくなつた。以前は全戸配布されるものがよくあったが、今は回覧が多くなつた。また、以前は月2回の配布だったが、今は月1回になっており、市の広報に載せられるものはなるべく広報に掲載することになった。回覧だとあまり見ないと思うが、和田区では全戸配布としているため、年4回の発行のままでよいのではないかと思う。必要があれば増やすことでよいと思う。

- ・現状の、「年4回発行」「全戸配布」のままでよいかを諮り、了承を得る。

次に掲載内容について、和田区地域協議会だよりでは、現在検討している自主的審議の進捗状況に関して、市の担当課の説明や委員の質疑等も掲載している。このほかに住民から親しみを持ってもらえるような内容等あれば、意見願う。

今思いついたが、たまに「地域協議会についてどう思うか」といったことを書いてもらうのもよいかもしいない。

- ・掲載内容について意見を求めるがなし。

また、次回以降の会議で「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について、何か意見があれば出していただければと思う。

以上で次第3議題(2)「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組についてを終了する。

— 次第4 事務連絡 —

【宮崎副会長】

次第4事務連絡に入る。事務局より説明を求める。

【堀川センター長】

- ・次回の協議会：11月17日（水）午後6時30分から

ラーバンセンター 第4研修室

釜蓋遺跡の現地視察について、土日でも構わないので日程を協議してほしい。
雪が降る前に視察を実施してはどうかと思う。

例えば、市長選後の11月7日（日）や14日（日）はどうか。宮崎副会長より日程調整願う。

【宮崎副会長】

— 日程調整 —

- ・釜蓋遺跡への現地視察：11月14日（日） 午後1時から※現地集合

【堀川センター長】

日程等について、改めて文書で知らせる。

○ その他配布資料

- ・令和3年度和田区地域活動支援事業 催し等予定表

【宮崎副会長】

事務局の説明に質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。